

様式第 1 号(第 6 条関係)

西予福子発第347号

令和 8 年 3 月 2 日

総務部総務課長

山崎 徳博 様

福祉事務所子育て支援課長 末盛 桂子

会 議 要 録

名 称	令和 7 年度第 2 回西予市子ども・子育て会議	
事 務 局	西予市福祉事務所 子育て支援課	
	電 話 0894-62-6551	
	F A X 0894-62-6564	
開 催 日 時	令和 8 年 2 月 18 日(水) 10:00~10:40	
開 催 場 所	西予市役所 5 階 大会議室	
出席者	委 員	P T A 代表 片岡正嘉 保育所保護者代表(公立) 毛利武司 小学校長代表 西川博幸(野村小学校長) 保育所長代表 岡本八重(俵津保育所長) 認定こども園長代表 山田里香 (うわまち未来こども園長) 児童福祉・事業主代表 柿内誠司(西予総合福祉会) 児童福祉・事業主代表 織田はつみ(野城総合福祉協会) 児童福祉・事業主代表 藤原由美(三瓶福祉会) 学識経験者 井上厚子(市代表主任児童委員) 学識経験者 黒田道代 委員 10 名
	その他	
	事務局	福祉事務所長 長野静香 子育て支援課 末盛桂子 兵頭栄治 清水昭吾 村上真紀 紀熊太智 内波姫花 こども家庭支援室 梶田寿美子 矢野直子 岡中栄子 学校教育課 薬師寺ふみ まなび推進課 細谷涼子 行政 12 名 総計 22 名

議事内容(要旨)	<p>1. 開 会</p> <p>2. 会長あいさつ</p> <p>3. 委員の交代及び副会長の選任について</p> <p style="text-align: center;">※選任について意見なし</p> <p>4. 議事 進行：会長 (1) 保育所（園）等の利用定員について</p> <p>会長：質疑を求める。</p> <p>委員：今回、定員変更したり、分園になったりした保育園は民間移管した保育園が多いと思います。民間移管時は民営化しても、今後の出生数を見込んで民間が運営できると見込んでからの民間移管だと思うんですけど、実際は蓋を開けてみれば、かなりの少子化で特に三瓶地区は年間20名前後の出生数を見込んで民間移管したんですけど、今現在は10名前後ととても落ち込んでおります。その点について何か行政側、民間移管したから、あとは民間に任せきりというわけではないと思うんですが、何か今後の対応とか、この人口減少対策について、民間の社会福祉法人や学校法人、色々な企業が西予市内で保育事業を展開していますが、西予市としての支援というか何かありますか。</p> <p>事務局：人口減少に関しては5年前と比べるとここ数年で格段に人口が減っているのを感じております。想像以上に出生率が減っていると思っています。三瓶地域だけではなく、出少数は宇和地域と野村地域以外は一桁台の出生数で、7年度の妊娠届が出ているが、2月、3月、4月に生まれる子が多少の人数の差はあると思いますが、本当に減っているという現状になります。今回、多田と石城については、人数の関係で分園にというところを事業所の方が決定をされて、私たちも分園にするということでお話をしたところになり、事業所の考えは元々あったところなんです。西予市が知らないふりをするわけではなく、人口を見ながら進めていくのがいいと考えます。小学校、中学校より生まれたらすぐ1歳までに保育所に入所するので、少子化の影響がすぐに反映されるのが保育園だと痛感しているところです。答えにはならないですが、何年か</p>
----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

の間に大きく変わっていくという現状は感じているところです。

委員：子育ての担当者からも予想しないくらいの少子化で大変驚いてるという意見も聞きますし、決して民営化したら後は知りませんっていうスタンスではないことも重々承知してはるんですが、予想以上のこういった波と言いますか、当初と比べたら私たちも想定外ですが、民間移管した以上、その地域における責任はとても感じておりますし、極端な話子どもが1人になっても、この地域での保育事業は展開していきたいと強く考えております。ただ、今後1つの法人がこう色々考えていくのではなくて、西予市が中心となって、地域の保育所も団体と連携しながら、将来を見据えた保育提供体制の計画的な整備とか、そういうものを今後も検討していただければとても助かります。一時期すごく民営化が進んだ時期がありまして、今は財政難やこういった少子化という問題がとてもあると思いますが、今後もこの地域で民間の事業者が保育事業を展開していくにあたって、是非色々なご指導やご支援をお願いできればと思います。

事務局：相談を受けたり分園なったりとか、人数が何人になったら閉めていいのかとか、親子さんからすると家から近いところに連れて行きたいと思う。学年で1人とか2人になった時にその子どもたちの育ちというのか、人と関わるというところがあるとすると、ある程度の人数の中で保育をしていくことも大事ではないかと思う。地域的にあまり一律にしすぎてもそこそこで違うところがあったりもする。何人になったら閉めますとか、何人でって言うと、どういう風に考え、何が正しいのかと判断が難しいと思うところです。小学校中学校が大勢になっていくため、少人数だと今後育っていく中で交流していくことも大事なことだと思っているところです。

## (2) 誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）について

会長：質疑を求める。

委員：利用ルールのところの利用上限を1人当たり、月10時間のというのが趣旨と狙いが合致しないような気がして、違和感があったんですけど

も、これはある程度どこの市町もどこの自治体も同じような感じのやるのでしょうか。もう少し上限が高くていいのかなという風なことを思ったので。色々、事情はおありだと思うんですが、違和感は思いました。その辺りはどうでしょうか。

事務局：利用ルールの中の子ども 1 人当たり月 10 時間までの利用時間の設定なんですけど、これは国の方で基準が決まっており、1 人当たり月 10 時間まで利用できるということで制度を作っていますので、西予市もそれに準じて 10 時間までというルールを設定しているというところです

### (3) 子ども・子育て支援事業計画の一部変更について

会長：質疑を求める。  
※特に意見なし

### (4) その他

- ・子ども・子育て支援事業計画の進捗状況の報告に係る補助率について
- ・えひめ人口減少対策総合交付金活用の西予市実施事業について

会長：質疑を求める。

委員：5 の資料の西予市の令和 6 年の実績が 113（出生数）ですか。出生数で令和 8 年の目標が 180 になってるんですけど、この目標はできそうというか、何か対策をした上で、この数字が出ているのかと思ってお聞きしたいです。

事務局：現実には令和 7 年の状況が分かっている状況で、実際には人口減少が進んでいる状況なので、令和 8 年の目標値が 180 は高い目標値となっている。

委員：対策とかしているんですか。

事務局：対策というと、転入してきて移住してもらいたいとか、西予市に住んで子どもを産んでもらいたいっていう県の人口減少対策交付金の中のメニューの中で、子どもを産んだらこういう制度があるっていうメニューを活用しながら、対策をしているという 1 つになるという表にはなりません。例えば表で言うと 1 番の結婚、新生活の中を縦に見ると新居浜市や西条市とか東温市、松前町、松野町、鬼北町などは事業をされてな

	<p>いけれども、西予市はやっているという見方をしてもらおうと見やすいと思う。2 ページ目の 9 番のあたりの出産世帯応援事業っていうところも、ほとんど事業をやられてるところが多いんですが、宇和島市や新居浜市などはこの事業を活用されてない。また独自で別のもののでされてるケースもあるんですけど、県がメニューをしている中に西予市がやろうと思うところに手を上げて、補助金も活用しながら進めているというような状態になっています。</p> <p>事務局：他に意見を確認。</p> <p>委員：出生数の目標について、180 でも 200 でも 300 でも書こうと思えば書ける。目標にするんならやってもらいたい。イベントとかも開くのはいいと思いますけど、結果とか開いて終わりではなくて、婚活とか出会い系も。カップルになったら後はお互いの気持ちかもしれませんが、本気で西予市の人口を増やそうと思ったら、知恵を出し合っできるんじゃないかと思います。目標と書くのであればしないといけない思います。できないのであれば 130 とか現状維持とかだと思います。</p> <p>※意見として確認。</p> <p>5. 閉会</p>
備 考	